

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE
OF KINDAI UNIVERSITY

近畿大学農学部紀要

第51号 2018

目 次

総 説

ザクロ等に含まれるエラグ酸の生理機能性

----- 家田彩菜・高田祐一・岩本和子・財満信宏・森山達哉 1

原 著

農牧民社会における食料安全保障と生計戦略：タンザニア中央部を事例に

----- 鶴田格・杉山祐子 11

日本の農村部において I ターン者が直面する生活上の諸課題

----- オビクウェル・フェイツ・エケネ 24

軟腐朽を起こす *Graphium* sp. M-1-9 のラッカーゼの諸性質について

----- 田中裕美・山本貴義・本田克樹・板倉修司 35

タイ山岳部における衛星画像を用いた土地利用区分-チェンマイ県メーチェム郡を事例として

----- 萩原 一樹・松野 裕・八丁 信正 52

ノ ー ト

近畿大学奈良キャンパスの里山内でカエントケが発生

-----澤島 拓夫・播本絵久・北野泉水・細谷奈緒美・奥田風花 62

近畿大学奈良キャンパスにおけるカスミサンショウウオの新たな目撃地点

----- 澤島拓夫・河村勇輝・萩野星・石原竜 66

奈良公園で見出された外来種、キイロナメクジ（コウラナメクジ）について

----- 澤島拓夫・瀬口翔太・黒住耐二 70

近畿大学奈良キャンパスにおけるマイマイガの大発生5年後の産卵状況

----- 澤島拓夫 76

資 料

近畿大学地域環境モニタリングシステム気象観測データ 2017年1月～12月

----- ジン・タナンゴナン・宮崎伸夫 82

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE OF KINDAI UNIVERSITY

Volume 51, 2018

CONTENTS

Review

Physiological functions of ellagic acid

Ayana IEDA, Yuichi TAKADA, Kazuko IWAMOTO, Nobuhiro ZAIMA
and Tatsuya MORIYAMA ----- 1

Original

Coping with Njaa (Food Shortage): Food Insecurity and Household Strategies among Agro-pastoralists in Central Tanzania

Tadasu TSURUTA and Yuko SUGIYAMA ----- 11

Challenges of Living in Rural Communities of Japan: I-Turners' Perspectives

Faith Ekene OBIKWELU -----24

Purification and partial characterization of laccase from the soft-rot fungus *Graphium* sp. M-1-9a

Hiromi TANAKA, Takanori YAMAMOTO, Katsuki HONDA
and Shuji ITAKURA -----35

Land use classification using satellite image in mountain area -case study in Mae Chaem, Chiang Mai, Province, Thailand

Kazuki HAGIWARA, Nobumasa HATCHO and Yutaka MATSUNO ----- 52

Note

A record of deadly poisonous fungus, *Podostroma cornu-damae* occurred in Satoyama forest surrounding Nara Campus of Kindai University

Takuo SAWAHATA, Ekku HARIMOTO, Izumi KITANO, Naomi HOSOYA

and Huka OKUDA ----- 62

**The new record of the Japanese clouded salamander, *Hynobius nebulosus*,
in the Nara Campus of Kindai University**

Takuo SAWAHATA, Yuki KAWAMURA, Akari OOGINO and Ryu ISHIHARA --- 66

An introduced slug, *Limax flavus* found in Nara Park

Takuo SAWAHATA, Syota SEGUCHI and Taiji KUEOZUMI ----- 70

**The oviposition situations of gypsy moth in Nara campus of Kindai
University after 5 years for their outbreak**

Takuo SAWAHATA, Syota SEGUCHI and Taiji KUEOZUMI ----- 76

Research Data

Nara Campus Meteorological Database from January to December 201

Jean TANANGONAN and Nobuo MIYAZAKI ----- 82

近畿大学農学部紀要投稿規程

1. 報文の投稿者は、近畿大学農学部教員、大学院生（修了後3年以内）、学部学生（卒業後3年以内）とする。ただし、共著者については、本学部の、技術員、研修員、研究員他を含むが、部外*の共著者が筆頭者となる報文の投稿については、事前に紀要委員会の承認を得なければならない。また、大学院生、学部学生が投稿する場合には担当教員の承認を必要とする。
 2. 報文は、投稿者の原著、ノート、総説、総合論文、調査・資料とする。
 3. 原著は、本規程ならびに原稿作成要領に従って作成されたものでなければならない。
 4. 報文は、原則 USB メモリーあるいは CD-ROM 入稿とする。
 5. 報文は、各学科の紀要委員を経て委員長に送付し、紀要委員長が受け取った日を受理の日とする。
 6. 原稿は、すべて編集会議において掲載の可否を審議する。
 7. 編集会議において、そのまま掲載できないと判断された場合は、その理由をふして著者に訂正を求める。この場合は、訂正原稿が委員長のもとに到着した日を受理の日とする。編集会議は紀要委員長が査読者の意見を聞き、紀要委員会にかける。
 8. 紀要委員会は、編集会議の参考に資するため、投稿原稿の査読を本学部に所属する2名以上の教員に依頼する。投稿者に査読者を推薦して決めてもらう。
 9. 報文の掲載は、原則として受理の日順とする。ただし、内容による区分等を必要とする場合等を考慮することがある。その際には、編集会議で掲載順を決定する。
 10. 報文の著者および共著者は、当該報文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された報文については近畿大学学術情報リポジトリにて公開されることを承諾したうえで投稿しなければならない。リポジトリの記載事項は、各委員が投稿者に見本を渡す。
- *附属農場、水産研究所は、部内に準じるものとする。

附記 平成17年7月改正
平成25年6月改正
平成26年6月改正
平成27年6月改正

紀要投稿に関する諸注意

1. 投稿の締切日は、9月30日に定める。ただし、日曜日の場合は、翌日10月1日とする。
2. 投稿するときは、所定様式の投稿カード（電子媒体）に必要事項を記入し、USBメモリーあるいはCD-ROMとその内容を打ち出した原稿とともに学科の紀要委員に提出する。
3. 原稿は、図、表、写真、英文 synopsis を含め、紀要委員長に1部提出する。
4. 英文原稿には、和文の表題、和文の姓名、200字程度の和文要旨、およびキーワード(5語以内)を添える。また、和文原稿には、英文表題、ローマ字表記の姓名、200語程度の synopsis およびキーワード（5語以内）を添える。
5. 英文原稿の場合は、あらかじめ投稿前にネイティブの英文校閲を済ませたものでなければならない。和文原稿の synopsis は、投稿前に同様に英文校閲を済ませたものでなければならない。未校閲の投稿は受け付けない。
6. 校正は、最終校を除き著者がおこなう。原則として、文章または図表の変更や追加をしてはならない。
7. 別途、別刷りを希望する場合、当該請求者の支払いとする。（学部予算は使用しない）

附記 平成25年6月18日改正
平成26年6月12日改正
平成27年6月8日改正
平成28年6月1日改正

電子媒体に関する諸注意

1. 電子媒体は、USBメモリーあるいはCD-ROMを指す。
2. Microsoft Word Version2007以降のソフトウェアを使用する。
3. 本文および表
字体（フォント）は、明朝体（MS明朝体、細明朝体）とする。
ポイントは、表題 12 文章 10.5 とする。英文の場合は、
Times New Roman とする。全て過去の紀要論文の体裁に従うことにする。
4. 著者の責任のもと、電子媒体（PDF）と Hard copy の表記が一致していることを確認したうえで、提出する。
5. 電子媒体がそのまま紀要として学術情報リポジトリに掲載される。

附記 平成25年6月18日改正
平成26年6月12日改正
平成27年6月8日改正
平成28年6月1日改正

近畿大学農学部紀要委員会

編 集 委 員 会

増田 忠義
澤田 好史
岸本 憲明
伊藤 龍生
八丁 信正
篠原 美紀

近畿大学農学部紀要 第 51 号

平成 30 年 3 月 31 日

発行

発行者 重岡 成

編集人 澤田 好史

発行所 近畿大学農学部
奈良市中町 3327-204